
とどめ ～命と人生と～

いちは

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とどめ ～命と人生と～

【Nコード】

N7092I

【作者名】

いちは

【あらすじ】

他人の命を奪ってしまった五人の中の一人、僕。

最後にアイツを蹴ったのはリュウイチだった。
リュウイチが頭を蹴った時、イヤな音がした。
ケンジが倒れているアイツの顔を殴っても、
アイツは痛みがりもしなかった。

目も閉じなかった。

だから、アイツにとどめを刺したのは、リュウイチのはずだ。

途中から武器を使っていたのはケンジだった。

ケンジは落ちていた鉄の棒で、アイツを叩きまくっていた。
叩くたびに、痛そうな音がしていた。

「ヤバいかも」

アイツが動かなくなって動揺したのか、

一番最初に顔を殴ったヒロシが、一番最初に泣き出した。

メソメソしているヒロシの頭をケンジが叩いた。

ヒロシはますます強く泣いた。

「橋から落ちたことにしよう」と言い出したのは、

一番ひどく殴ったり蹴ったりしていたイクヒコだった。

イクヒコは、皆で口裏を合わせればバレないさ、と言った。

リュウイチとケンジは勢いよく賛成した。

ヒロシはただただ泣いていた。

口裏合わせを提案したイクヒコは得意げだった。

アイツは死んじやった。

最初に顔を殴ったのはヒロシ。

最後に頭を蹴ったのはリュウイチ。
散々殴って蹴ったのはイクヒコ。
鉄の棒なんか使ったのはケンジ。

こいつら、皆、どうかしている。

ハッキリ言ってバカなんだ。

手加減というものを知らない。

いくらアイツがムカつくからって。

バレたら、こいつら皆、有罪だろうな。

僕は、ほとんど見ていただけ。

二回か三回、アイツのスネを蹴っただけ。

イクヒコがニヤニヤしながら僕を見た。

「言い出しっぺのお前が、一番悪いんだぜ」

ケンジもリュウイチも僕を見て、そうだそうだと言った。
ヒロシでさえ、泣くのをやめて僕を見ていた。

だから、バカは嫌いなんだ。

お前ら、全員死ねば良い。

お前らも、死んでしまえ。

僕は、高校受験の勉強計画を練りながら、
目の前のバカたちを呪い続けた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7092i/>

とどめ ～命と人生と～

2010年10月11日01時30分発行